

経営改善資金計画書(法人)

<input type="checkbox"/>	農業協同組合	御中
<input type="checkbox"/>	信用農業協同組合連合会	
<input type="checkbox"/>	農林中央金庫 支店	
<input type="checkbox"/>	銀行 店	
<input type="checkbox"/>	信用金庫 店	
<input type="checkbox"/>	信用協同組合 店	
<input type="checkbox"/>	株式会社日本政策金融公庫 支店	

提出先の窓口機関にチェックを入れて下さい。

年 月 日

住所
法人名
代表者

印

(注) 金額は千円単位で記入して下さい。

法人の概要						農業所得割合				
設立年月	年	月	資本金			千円				
構成員氏名 <small>※連帯債務者は、氏名に○印を記入</small>	年齢	役職担当	法人従事 日数	出資口数	その他・備考	農業に係る 直近年の売上高①	千円			
					○構成戸数 () 戸					
					○常時雇用 () 人					
					○臨時雇用 () 人	法人の直近年の 総売上高②	千円			
直近の損益状況(特別の事情があるときは直近年の前年を記入しても差し支えない。)(注1)										
区分		営業		営業外						
利益・収益		A 千円		B 千円						
費用				C 千円						
経常利益A+(B-C)				千円		①/②	%			
税引後当期利益				千円						
備考	(注2)									
経営の概要(固定資産税台帳の写し等内容のわかるものを添付した場合は記入不要)										
経営規模	田	a	倉庫	m	乳牛(成牛)	頭	トラクター	台		
	畑	a	畜舎	m	肉用牛	頭	コンバイン	台		
	樹園地	a	堆肥舎	m	豚	頭	田植機	台		
	採草放牧地	a	サイロ	m	採卵鶏	羽				
			ハウス	m	ブロイラー	羽				
生産の実績(直近の収支状況に対応したもの(注1))										
耕種	作目名	作付面積	収穫量	販売金額	酪農	生乳生産量	kg	養豚	出荷頭数	頭
		a	kg	千円		販売金額	千円		販売金額	千円
		a	kg	千円	肉用牛	品種		採卵鶏	出荷量	kg
		a	kg	千円		販売頭数	頭	ブロイラー	販売金額	千円
		a	kg	千円		販売金額	千円		出荷羽数	羽
		a	kg	千円					販売金額	千円

(注1) 決算書等で把握可能であり、添付した場合は記入不要。

(注2) おおむね5年目(経営改善の目標年)時点の農業に係る売上高、労働時間及び総売上高の目標を記入。

【添付書類】最近3か年の決算書(附属明細書を含む)等

※ 本計画書への押印については、融資機関に正式な借入申込書(別紙6)等を提出する時以外は、省略することができる。

※ 法人格を有しない団体も本計画書に準ずる。

事業・資金・償還計画等					
事業内容	事業目的	種類	数量・規模・能力	事業費	
	(記載例) 現在の栽培方法では、連作による土壌の障害が発生する為、収益率が下がるので、今回、新技術を導入し、収益の向上及び人手の省力化を図りたい。		ロックウールばら培養装置	一式、〇社、〇型	〇〇〇千円
資金計画 (注1)	所要資金 千円	資金調達			
		制度資金 (資金用途を記入) 千円	その他借入 千円	補助金 千円	自己資金 千円
要償還額 ・償還財源	年間要償還額	償還財源【 年 月】(注3)			
		経常利益	税引後当期利益	減価償却費	
	今回分(注2:元本のみ) 千円	②+③ 千円	① 千円	② 千円	③ 千円
	既往分(注3) 千円	千円	千円	千円	千円
	償還方法 ・時期(希望)	元金均等・元利均等 / 年償還回数 回 償還月日 月 日			
最終償還期限	令和 年 月 (据置期間 年 月)				
資産の概要(決算書等で把握可能であり、添付した場合記載不要)					
項目	金額	主な勘定内訳			
流動資産	千円	預貯金(千円)、売掛金(千円)、受取手形(千円)、棚卸(千円)			
固定資産	千円	土地(千円)、建物(千円)			
繰延資産	千円				
資産合計	千円				
流動負債	千円	短期借入金(千円)、買掛金(千円)、支払手形(千円)			
固定負債	千円	長期借入金(千円)			
純資産	千円	資本金(千円)、法定準備金(千円)、余剰金(千円)			
保証債務	千円				
特記事項	(例)第三者のための保証人になっている場合は、その額及び明細を記入。				

(注1)「資金計画」欄中「その他借入」については、借入先、借入時期、「補助金」については交付機関名とその金額、「自己資金」については現金、自家労賃、手持資材別にその金額を記入すること。

(注2)今回の借入額を償還期間(据置期間を除く)で除した金額を記入する。

(注3)既往分欄及び償還財源欄は、原則として、おおむね5年目(経営改善の目標年)時点のものを記入する。ただし、この間において、償還財源が最大なときがある場合は、その年目のものについて記入する。

【農業改良資金の借入を希望する場合のみ記載】

資金による取組の内容(新作物、流通加工分野、新技術に係る内容)、目標について具体的に記入してください。

<p>新作物・流通加工・ 新技術のチャレンジ内容</p>	<p>(記載例) 水稲経営の規模拡大(刈取面積〇〇ha→〇〇ha)により更に一台のコンバインを導入し適期刈取を進めるとともに、環境にやさしい農業の推進のため高精度水田除草機を導入し農薬(除草剤)の散布量を減じる。(新しい生産方式の導入例)</p> <p>(記載例) 飼料給与体系をミキサーフィダーの導入によりTMR方式に改良し、給与技術を改善する。また、繋ぎ飼い方式をフリーストールミルクングパーラー方式に改造し、飼養規模の拡大(成牛〇〇頭→〇〇頭)による低コスト化により収益性の改善を図る。更に〇年目を目途に、自家産牛乳を活用したアイスクリームの製造直売施設を設置し、高付加価値販売に取り組む。</p>
----------------------------------	--